

令和7年9月市議会定例会議案概要説明

令和7年9月市議会定例会は、9月1日に招集することで、本日、告示を行いました。

9月議会に提案いたします議案としては、甲議案として14件、乙議案として8件、諮問1件、報告5件の計28件について提案し、ご審議をお願いすることとしております。

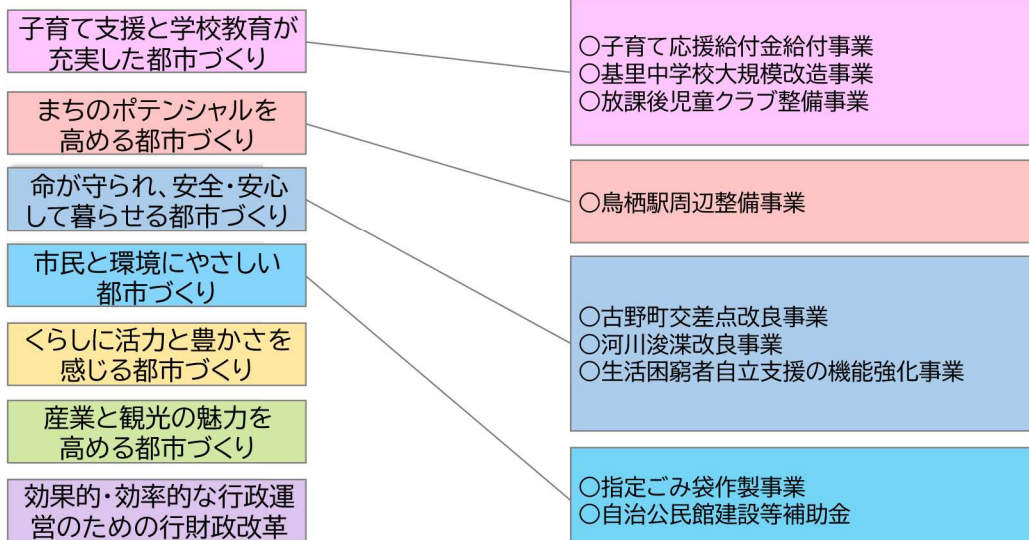
なお、人事案件であります「鳥栖市教育委員会教育長の任命について」「鳥栖市教育委員会委員の任命について」「人権擁護委員候補者の推薦について」は、後送議案といたします。

今回提案する9月補正予算につきましては、

- ・ 子育て世帯を応援する、物価高に対応した給付金の支給
 - ・ 古野町交差点に歩道を整備し、歩行者の安心・安全を確保
 - ・ 特小サイズごみ袋の導入で、ごみ出しをもっと便利に
- など、一般会計で約12億7千万円の補正予算となります。

それでは、令和7年度9月補正予算の概要につきまして、説明いたします。

鳥栖市重点戦略に対応する新規事業等



第7次鳥栖市総合計画において、特に私の公約との親和性が高い事業を「重点戦略」として位置付けております。

「重点戦略」を構成する7つの柱のうち、今回の補正予算につきましては、4つの柱について予算を提案いたしました。

子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○子育て応援給付金給付事業 66,149千円 新規

子どもの健やかな育成を支えるため、子育て世帯の経済的な支援として、児童手当受給対象児童1人当たり5千円を給付します。

○基里中学校大規模改造事業 4,000千円

基里中学校の管理特別教室棟及び普通教室棟の施設老朽化に伴う大規模改造事業の工事着手にあたり、まず準備段階として関連業務を行います。

○放課後児童クラブ整備事業 21,512千円

社会福祉法人田代保育園が開設を予定する放課後児童クラブの施設整備に係る費用について補助を行います。

3

まず、「子育て支援と学校教育が充実した都市づくり」でございます。

『子育て応援給付金給付事業』につきましては、国の重点支援地方交付金の追加内示を受けましたことから、子育て世帯の経済的な支援として、児童手当受給対象者7,100世帯、児童数12,600人に対し、児童1人当たり、5千円の給付を行うものです。12月の支給を予定しています。

『基里中学校大規模改造事業』につきましては、計画的に実施してきております小中学校の大規模改造事業につきまして、基里中学校の管理特別教室棟、普通教室棟の老朽化に伴う大規模改造事業の工事着手にあたり、まずは準備段階として関連業務を行うものです。

『放課後児童クラブ整備事業』につきましては、社会福祉法人田代保育園が開設を予定する放課後児童クラブの施設整備に係る費用について補助を行うものです。

まちのポテンシャルを高める都市づくり

○鳥栖駅周辺整備事業 64,000千円

鳥栖駅周辺の課題解決に向けた取組みとして、まずは、鳥栖駅東側の利便性向上などを目的とした、鳥栖駅東短期施策の実現に向け、予備設計等を行います。



鳥栖駅東短期施策（東口設置）

4

次に、「まちのポテンシャルを高める都市づくり」でございます。

『鳥栖駅周辺整備事業』につきましては、先日の全員協議会でお示しいたしました、鳥栖駅東側の利便性向上などを目的とした、鳥栖駅東短期施策の実現に向け、「虹の橋」を活用し、改札連絡通路を設け各ホームにつながる跨線橋を設置する方針に沿った、予備設計等を行います。

命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○古野町交差点改良事業 6,601千円 新規

以前から課題とされていた古野町交差点について、角地の用地を取得し歩道等を整備することで、歩行者の円滑で安全な通行の確保を図ります。



通学状況（R5当時）

○河川浚渫改良事業 17,000千円

近年頻発する大雨により、住宅、倉庫等の浸水、道路冠水による被害が発生している基里地区において、雨水対策として水路に逆流防止施設を設置します。

○生活困窮者自立支援の機能強化事業 2,500千円

物価高騰に伴う生活困窮者の増加に対応するため、生活困窮者支援活動を行う民間団体に対して活動支援を行い、生活困窮者自立支援の機能強化を図ります。

5

次に「命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり」でございます。

『古野町交差点改良事業』につきましては、以前から課題とされておりました古野町交差点について、建て替えのタイミングにより、交差点角地の用地を取得する目途が立ちましたことから、この機を逸することなく歩道等を整備するものです。

『河川浚渫改良事業』につきましては、過去の大雨により被害が発生した基里地区において、雨水対策として河川からの逆流による水路の浸水を防ぐため、水路に逆流防止施設を設置するものです。

『生活困窮者自立支援の機能強化事業』につきましては、離職等により住居を失う生活困窮者に対応するため、生活困窮者支援活動を行う民間団体に対して活動支援を行い、生活困窮者自立支援の機能強化を図るものです。

市民と環境にやさしい都市づくり

○指定ごみ袋作製事業 4,036千円

拡充

現行の可燃物用ごみ袋（大・小）に加え、新たに特小サイズを導入し、単身世帯や高齢者世帯のごみ搬出の利便性を高めます。また、スーパー等でのレジ袋としても使えるデザインとし代用に取り組み、環境負荷の低減を図ります。

○自治公民館建設等補助金 1,170千円

村田町公民館及び松原町公民館改修工事に対し、補助を行います。

令和7年度 9月補正予算 12億6,969万8千円

(補正後 361億6,565万3千円)

対前年度同期 予算比較	補正額 (補正後)	+1億8,893万8千円 +29億8,399万4千円	+17.5% +9.0%
----------------	--------------	-------------------------------	-----------------

6

最後に、「市民と環境にやさしい都市づくり」でございます。

『指定ごみ袋作製事業』につきましては、現行の可燃物用ごみ袋（大・小）に加え、新たに特小サイズを導入することにより、単身世帯や高齢者

世帯のごみ出しの負担を軽減し、利便性の向上を図るものです。

特小サイズは、現行の小サイズの約半分の大きさを予定しております。

また、特小サイズごみ袋は、いわゆる「レジ袋」としても使えるデザインとすることや、店頭で1枚単位で購入していただけるよう販売店とも調整を行いまして、レジ袋として使った後は、ごみ袋として使用できるよう工夫してまいります。

レジ袋の消費量を減らし、環境負荷の低減に繋げてまいります。

『自治公民館建設等補助金』につきましては、村田町公民館及び松原町公民館改修工事に対し、補助を行うものです。

以上が、9月補正予算の主な内容となりますが、
今回の補正額は、12億6,969万8千円を補正し、
補正後の一般会計予算額は361億6,565万3千円となります。